

特別活動 授業デザイン

日	時：平成25年2月15日（金）第4校時（11時40分～12時30分）
学	年：本校中学部1・2年
授業場所	：本校学習室1

1. 単元（題材）名

「便利な道具を便利に使うために」

2. 単元（題材）の目標

- (1) 携帯電話を使う際に、周りの事を考えてマナーを守るようになること。
- (2) 携帯電話に多くの個人情報が入っていることを理解し、その保護を意識すること。
- (3) TPOに合ったコミュニケーションを選択し、選択した方法を正しく使うこと。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全3時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	気持ちよい生活をおくるために、携帯電話を使う際のマナーを考える。	IWB
第2時	携帯電話の中にある個人情報を知り、個人情報の保護の仕方を考える。	IWB
第3時 (本時)	TPOにあったコミュニケーションの選択をし、相手の立場になって伝える大切さを考える。	IWB

4. 本時の目標

- ・メールの特性を知り、正しく伝えることの大切さを理解する。
- ・コミュニケーションのそれぞれの方法のメリットデメリットを知り、正しい選択を考慮することができる。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	展開
活用する者〔目的〕	・指導者 〔・資料提示〕
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ
活用する機器	・IWB

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習</p> <p>①前時の振り返りをする。</p> <p>②コミュニケーションに関する寸劇を見て、ポイントをあげる。</p>	IWB (指導者)	<p>【授業の展開を IWB で提示し、そのときなにをしているのかわかる状態にすることで、生徒の意識を授業に向けるよう支援する。】</p> <p>・言葉の選択、ニュアンス、表情、口調、時間や場所がコミュニケーションのポイントになることに気付かせる。</p>
展 開	<p>協働学習→一斉学習</p> <p>③3つのコミュニケーションの方法について、それぞれのメリット、デメリットを考え、発表する。</p> <p>○面と向かって顔を見て伝える。</p> <p>○電話で伝える。</p> <p>○メールで伝える。</p>	IWB (指導者)	<p>【メリット、デメリットのスライドを提示しておき、その後の活動中も常に確認できるようにしておく。】</p>
	<p>個別学習→協働学習→一斉学習</p> <p>④大事な要件を直接伝えられない状況のときに、どのような方法を選択して連絡するかを考える。</p>	IWB (指導者)	<p>・「メールのやりとりで大げんかした相手に謝りたいが、今は会えない。でも直接会って謝らなければ。」という状況でどのように連絡するかを考える。</p>
ま と め	<p>一斉学習</p> <p>⑤3つのコミュニケーションの方法の違いと、どのようなことに気をつけて方法を選択すればよいかを確認する。</p>	IWB (指導者)	<p>・重要なことを話すときは直接会って話すことが大切であるが、状況によって最適な方法を選択することを確認する。</p>
	<p>個別学習</p> <p>⑥本時の振り返りをワークシートに記入する。</p>		

7. 本時の評価 (評価の観点・観点別の評価を含む)

- ・メールの特性を理解し、正しく伝えることの大切さを理解しているか。
- ・コミュニケーションのそれぞれの方法のメリットデメリットを知り、正しい選択を考えたことができたか。

8. 準備物

IWB, デジタル資料 (自作コンテンツ)